

講評

本事業には、約4ヶ月という公募期間の中で、2グループからの提案提出があった。いずれも市民および観光客双方にとって海浜公園が魅力的な場所となる、見ごたえのある内容であった。

2グループからのプレゼンテーション及び質疑応答、選定委員による審議を経て、須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業者選定委員会として「神戸須磨 Parks + Resorts 共同事業体」を優先交渉権者候補者（設置等予定者候補者）に選定した。

以下に、選定理由を示す。

実施体制及び全体の整備・運営計画について

- ・整備から運営に至る体制が明確で、安定した事業実現が見込まれる。
- ・代表構成団体が属する大手メディアグループ、および構成団体である鉄道系企業による、効果的な情報発信や誘客が期待できる。
- ・市が求める「須磨海浜公園エリア全体の魅力を向上させる」ための明確な事業コンセプトと、それを具現化する仕組みが提案されていた。

施設ごとの整備・運営計画

(園地)

- ・松林について、維持管理における具体的な提案が示されている。
- ・多様な市民が健康づくりに取り組むことができる、ソフト、ハード両面での提案があった。
- ・一般公園利用者が多目的に利用でき、また当地の歴史等も展示する施設が計画されるなど、地域コミュニティの継承と創造の提案が示されている。

(水族館)

- ・幅広い生物展示及び体験プログラムに加え、強い集客力を持つシャチのパフォーマンスが提案されており、年間200万人の集客目標の達成が期待できる。
- ・集客数が低迷した場合の水族館への大規模追加投資案など、事業全体の集客維持に向けた提案があった。
- ・各分野の研究者と連携した「神戸保全繁殖センター」の設立によって、研究活動を基にした種の保存や教育といった、水族館の果たす社会的役割が期待できる。
- ・海を望むようにショースタジアムが配置されるなど、周辺環境を活かした施設配置となっている。

(宿泊施設)

- ・水族館併設ならではの機能を有し、市内の他の宿泊施設との差別化が図られている。
- ・海への眺望を確保した施設配置や、客船をモチーフとした外観デザインなど、須磨エリアの特色を施設の魅力に取り入れている。
- ・全国で展開している自社グループのホテルとの相乗効果が期待できる。

(にぎわい施設)

- ・子育て世代が親子で楽しめる、魅力的な施設の提案があった。
- ・木質系の外装デザイン（アースカラー）で統一されるなど、景観への配慮が見られる。

以上